



横浜市立相沢小学校 7月号 R3.6.30

学校だより



学校 HP QR コード

あいさつ



校長 野口 みか子

6月の土曜授業参観日に多くの保護者の方に参観していただきありがとうございました。その折にアンケートをお願いし、様々なご感想・ご意見をいただきました。各家庭1名に絞っていたこと、受付で約束を守って入校いただくよう確認していたこと、消毒液の設置等、感染防止対策がしっかりなされていて安心したとのご意見をいただき、私たちも皆さんにご協力いただく中で感染防止対策をしっかり行ってよかったと励まされました。もちろんご家族で参観したかったとのご意見もありましたが、皆様に子どもたちの健康を第一に考え、子どもたちを守るために約束へのご理解・ご協力をいただきましたことに心より感謝申し上げます。引き続き、感染防止対策へのご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

本校では、4、5、6月の生活目標は「あいさつをしっかりしよう」を掲げています。朝のあいさつはもちろんのこと、廊下で会った時には「こんにちは」とあいさつするだけでなく、黙礼（もくれい）をする子もいます。とても嬉しい瞬間です。あいさつは人と人をつなぎ、互いを生かし合って、仲良く暮らすための習慣です。それはなぜなのでしょう。

自分から心をこめてあいさつをすると、相手に「あなたを大切に思っています。」と言う気持ちが伝わります。するとあいさつをされた人は、「自分は相手から大切に思われている。」とその気持ちを感じ取ります。だから、あいさつをされて嫌な気持ちになる人はいないのだと思います。あいさつをする人もされる人も、自分は大切にされていると感じ取って行き、人が人を大切に思う心を膨らませていくのです。そうすると人が自分にやってくれたことに感謝の気持ちがわいてき、自分も相手の喜ぶことをしたいと言う気持ちがわいてきます。相手が何に困り、何を喜び、何を思っているのだろうか・・・と相手に気持ちを向けてつながりを強くしていきます。

「答えのない時代に子どもたちは大人として生きていくことになる」と言われています。しかし、いつの時代も答えは誰かに決めてもらうものではなく、自分自身が迷い悩みながら生きていくことが、生きることなのだと思います。だからこそ、将来がどのような状況になろうと、人が人につながり、自分と他者を同じように大切にしようとする態度を身に付け、互いに助け合って生きていくことが「自分を生き抜く力」になるのだと思います。

夏休みは子どもたちが学校外で過ごす時間が増えます。ぜひともまずは朝起きたら、家族で互いに「おはようございます」とどんな場でも人を大切にする気持ちが伝わる丁寧なあいさつを交わしてみてください。少し照れくさいですが、慣れればよい習慣になっていきます。